OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	翻訳ワークベンチPIVOT入門
Author(s)	中島, 重雄
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1992, 86, p. 99-113
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65983
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

翻訳ワークベンチＰＩＶＯＴ入門

システム管理掛　　中島　重雄
w60153a@center.osaka-u.ac.jp

Ⅰ．はじめに

センター設置のワークステーションＥＷＳ４８００上で，翻訳ワークベンチ PIVOT/EJ (英語から日本語への翻訳)，PIVOT/JE(日本語から英語への翻訳)が利用できます。 以下，ＰＩＶＯＴと呼びます。ＰＩＶＯＴはいわゆる自動翻訳システムではなく翻訳作業の手助けをおこなうソフトウエアと考えてください。ここでは，ＰＩＶＯＴを使う上での環境設定や基本的な操作について述べることにします。なお，ワークステーションを利用するためには汎用機の申請とは別に利用申請が必要となります。この利用申請の方法については【参考１】をご覧ください。また，ＰＩＶＯＴについての詳しい説明はつぎのマニュアルをご覧ください。

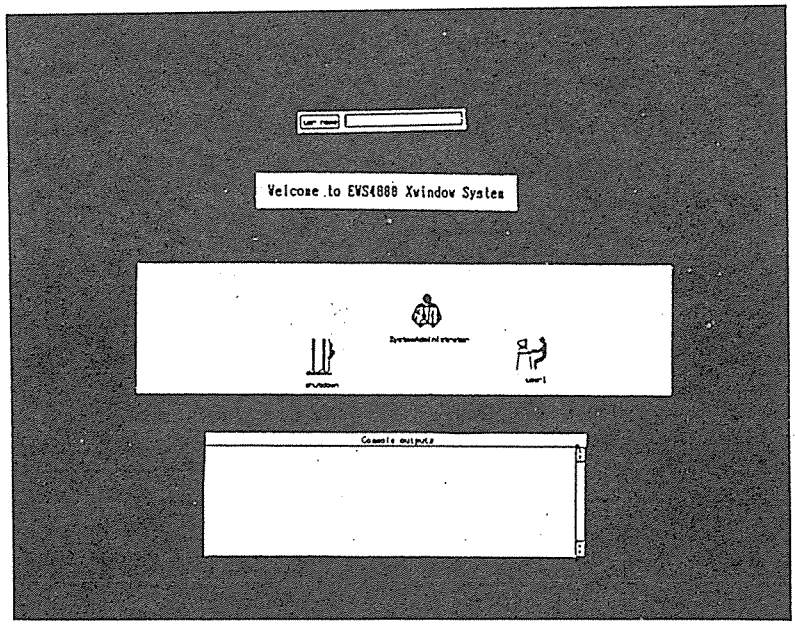
翻訳ワークベンチＰＩＶＯＴ／ＥＪ利用の手引＜基本編＞ EKI 81-3
〃　＜詳細編＞ EKI 82-3
翻訳ワークベンチＰＩＶＯＴ／ＪＥ利用の手引＜基本編＞ EKI 71-3
〃　＜詳細編＞ EKI 72-3

Ⅱ．利用形態

ＰＩＶＯＴがインストールされているのは，センター第３ＴＳＳ室のｃｃｅｗｓ０３と，豊中データステーション(以下豊中Ｄ・Ｓ)のｃｃｅｗｓ１０です。また，その他のＥＷＳ４８００(ccews01,X-station,ccews09(豊中Ｄ・Ｓ))からＸウインドウによりリモートログインして利用することができます。

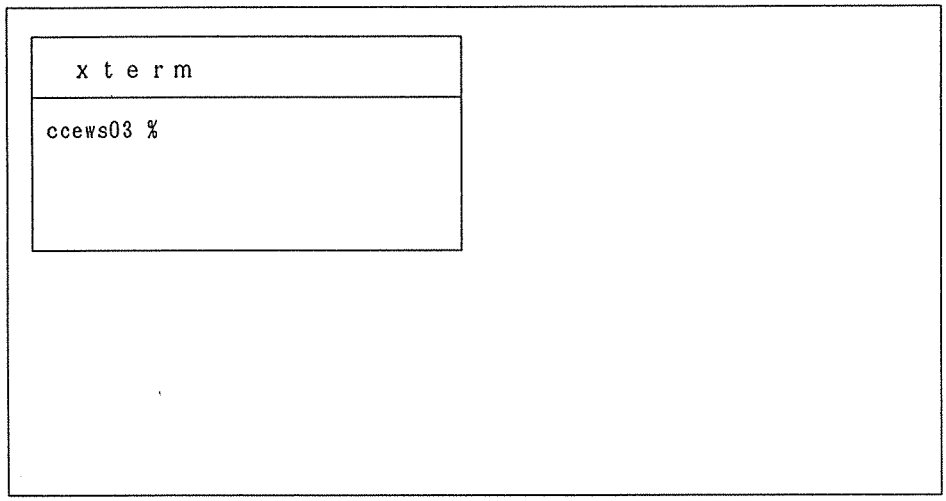
Ⅲ．ログイン

ｃｃｅｗｓ０３または，ｃｃｅｗｓ１０の初期画面は次のようになっています。



1.ログイン名（登録番号７桁）を入力します。
2.パスワードを入力します。

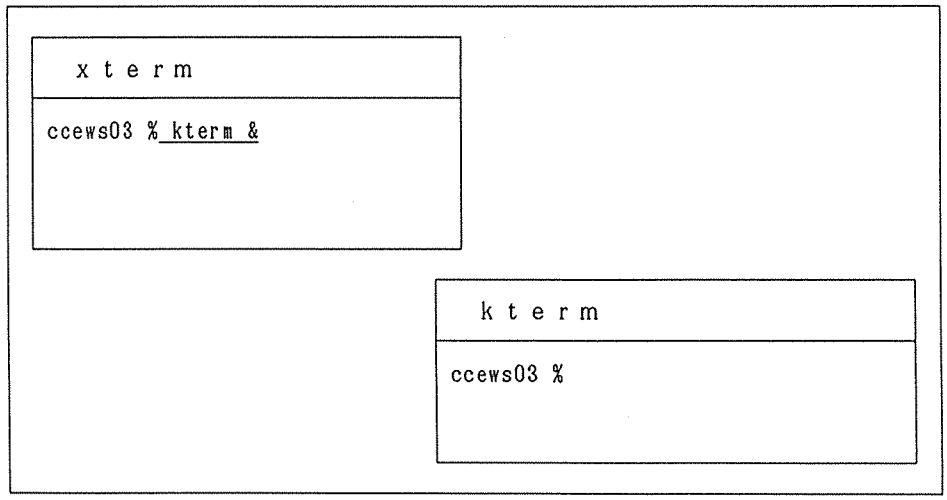
これにより，次のようなＸウインドウ画面となります。



3.つぎに漢字入出力のできる別のウインドウを開くため，マウスを移動してカーソルをｘｔｅｒｍの画面内に入れｋｔｅｒｍ＆と入力します。

下線は入力を示します。

4.これにより枠が表示されますので適当な位置でマウスの左ボタンをクリック（マウスのボタンを押してすぐ離す操作）することにより新しいウインドウが開かれます。



5.これからのコマンド入力はこのｋｔｅｒｍ画面でおこなうことにします。

Ⅳ. 環境ファイル設定

1. コマンドサーチパス設定
   ホームディレクトリ下の.cshrcの set pathにつぎを追加してください。

```
/applic2/PIVOT/PVTejEXE      ..... 英日翻訳のためのパス
/applic2/PIVOT/PVTjeEXE      ..... 日英翻訳のためのパス
```

2. 環境変数設定
   環境変数 PIVOTEJ,PIVOTJE,PIVOTEJDIC,PIVOTJEDIC をつぎのように設定してください。

```
setenv PIVOTEJ /applic2/PIVOT/PVTejKB
setenv PIVOTJE /applic2/PIVOT/PVTjeKB
setenv PIVOTEJDIC /applic2/PIVOT/EJDIC
setenv PIVOTJEDIC /applic2/PIVOT/JEDIC
```

【参考】
1.及び2.の設定のための環境ファイル例を/usr1/guestの下に用意しています。環境設定に詳しくない方はつぎのようにおこなうことにより，．で始まる環境ファイル(.cshrc,.login等)が自分のホームディレクトリ下にコピーされます。

```
ccews03 % cp ~guest/.??* .        ~ はチルダを示しています。
```

3. つぎに，サーチパス等を有効にするため次のコマンドを入力してください。一旦，ログアウトし，新たにログインしなおした場合には必要はありません。

```
ccews03 % source .cshrc
```

4. 実行用ディレクトリの作成
   ＰＩＶＯＴを実行するためのディレクトリを作成します。

【例】
```
ccews03 % mkdir pivot     ....  ここではpivotという名のディレクトリを作成。
                                （名前は任意です。）
```

5. 翻訳支援及び辞書環境設定ファイル

```
/applic2/PIVOT/PVTejRC/.pvtejrc
/applic2/PIVOT/PVTjeRC/.pvtjerc
/applic2/PIVOT/PVTejRC/EJSDIC
/applic2/PIVOT/PVTejRC/EJTDIC
/applic2/PIVOT/PVTjeRC/JESDIC
/applic2/PIVOT/PVTjeRC/JETDIC
```

4.で作成したディレクトリにこれらのファイルをコピーしなくてはなりませんが，めんどうでしかも間違う可能性もあるため一括してコピーするコマンドを作成しましたので次の方法でおこなってください。

- まず，4. で作成したディレクトリへチェンジします
  ccews03 % cd pivot

- 次のコマンドを実行します。
  ccews03 % pvtrccp　　...　上の６つのファイルをコピーします

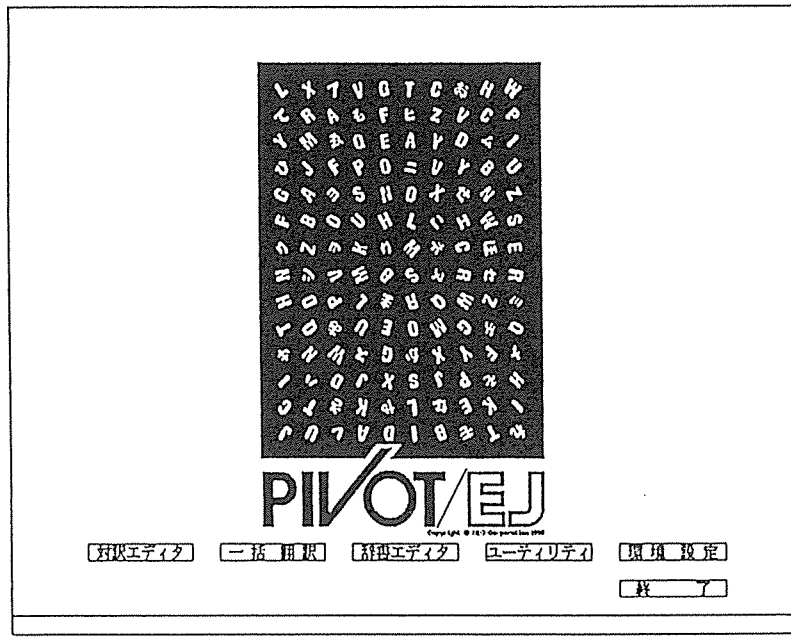
以上でＰＩＶＯＴを起動するための環境ファイル設定が完了しました。今後はこれらのコマンドを実行する必要はなく，ログイン後，4.で作成したディレクトリへチェンジをおこなえば，ＰＩＶＯＴの起動が可能です。

Ⅴ．ＰＩＶＯＴの起動

英日翻訳の場合は pivotej を，英日翻訳の場合は pivotje と入力します。基本的な操作はほとんど変わらないので以降の説明は英日翻訳について説明をおこないます。英日翻訳と日英翻訳で操作の違う点についてはその都度説明をおこないます。

1. 英日翻訳の場合
   ccews03 % pivotej

2. 日英翻訳の場合
   ccews03 % pivotje
   これにより次のようなＰＩＶＯＴのメインメニューが表示されます。



【参考】

ｃｃｅｗｓ０３またはｃｃｅｗｓ１０以外からの利用。

1.仮にｃｃｅｗｓ０１からｃｃｅｗｓ０３を利用するには，まずｋｔｅｒｍウインドウからｃｃｅｗｓ０３にリモートログインしなくてはなりません。

```
ccews01 % rlogin ccews03
```

2.つぎに環境変数ＤＩＳＰＬＡＹを設定します。

```
ccews03 % setenv DISPLAY ccews01:0.0          ccews01はログインしたマシン名
```

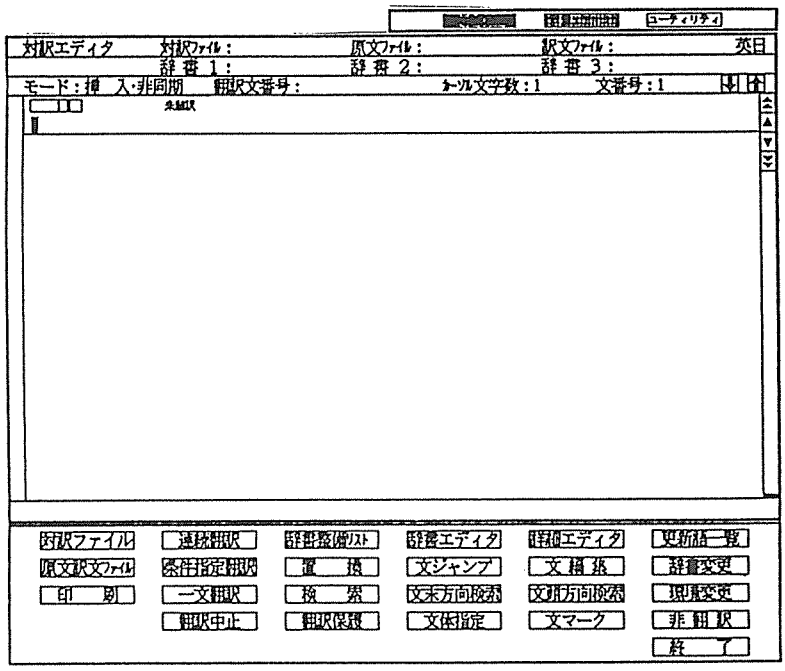
3.実行ディレクトリへ移ります。

```
ccews03 % cd pivot
```

4.ここでＰＩＶＯＴの起動(pivotejまたはpivotje)をおこないます。

Ⅵ. 対訳エディタの起動

1.メインメニュー [対訳エディタ] の枠内にカーソルを入れ，マウスの左ボタンをクリックします。以降ではこのような操作は＜対訳エディタ＞をクリックしますという表現にします。これにより次の対訳エディタ画面が表示されます。なお，画面下のメニューは操作パネルと呼びます。



Ⅶ. 原文の入力

原文は次の方法で入力ができます。

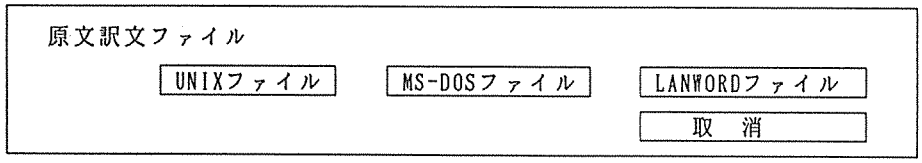
- 対訳エディタ画面で直接入力
  対訳エディタ画面で直接入力するには文を入力して（文の最後には". "を忘れずに）リターンキーを押すと自動的に２文目の入力欄が作成されます。日英翻訳の場合はかな漢字入力が可能となっています。

- ＭＳ－ＤＯＳまたは，ＬＡＮＷＡＲＤファイルをフロッピィディスクから入力

- ｕｎｉｘ上で作成したファイルを入力

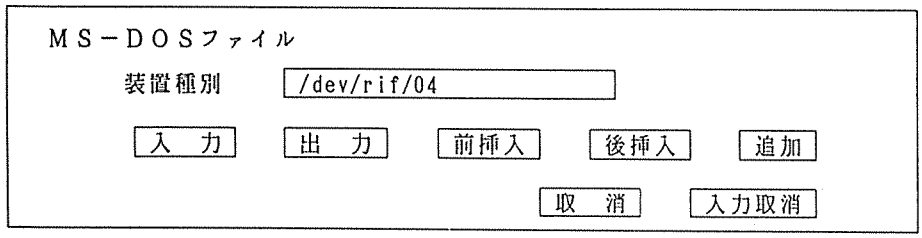
以降では，ＭＳ－ＤＯＳとｕｎｉｘファイルの入力方法について説明をおこなうことにします。操作はほとんど変わらないので説明はＭＳ－ＤＯＳを中心におこない，違う点についてのみ，その都度説明をおこないます。

1.操作パネルの＜原文訳文ファイル＞をクリックすると次画面となります。

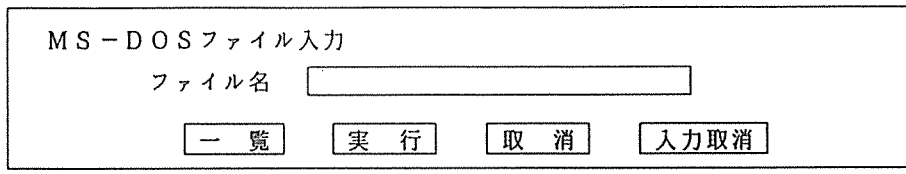


2.ここでいずれかの枠内でクリックします。
＜ＭＳ－ＤＯＳファイル＞を選択した場合，３．５インチフロッピィディスク(2HD)から入力がおこなえます。５インチフロッピィディスクから入力するには最終ページの［参考２］をご覧ください。

＜ＵＮＩＸファイル＞を選択した場合，装置種別の表示がないだけで＜ＭＳ－ＤＯＳファイル＞を選択した場合と操作はまったく同じです。注意しなくてはならないのは日英翻訳でのファイル入力時のかな漢字コードです。ＰＩＶＯＴではＥＵＣコードでなくてはなりません。かな漢字コードについては，最終ページの［参考３］をご覧ください。

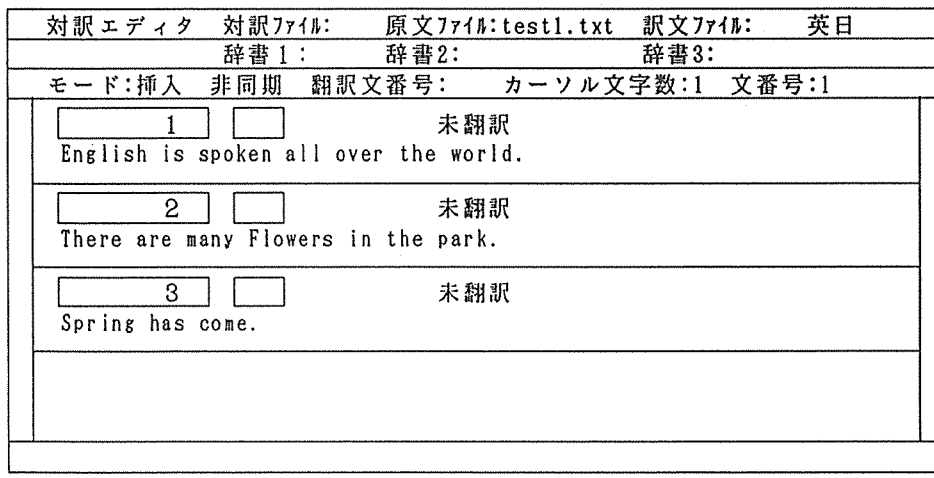


3.装置種別の変更はおこなう必要がありませんので<入力>をクリックしてください。
すると次画面のようにファイル名入力となりますのでＭＳ－ＤＯＳファイル名を入力します。



4.ファイル名を入力し<実行>をクリックします。
ファイル名を忘れた場合は<一覧>をクリックすればファイル名一覧が見れます。

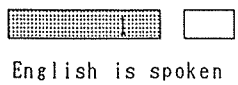
5.これにより対訳エディタの画面に原文が読み込まれます。



Ⅷ. 翻訳

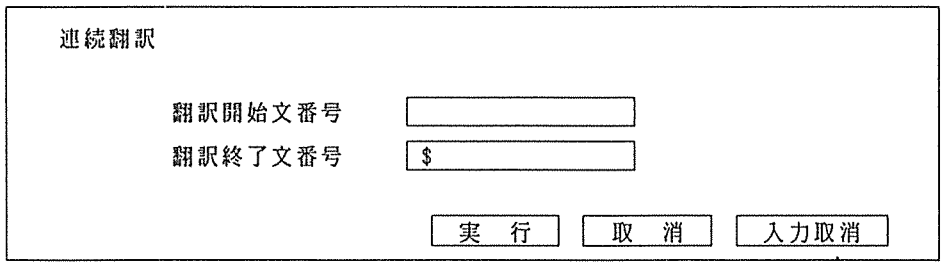
１．１文単位の翻訳

原文の上の枠内の数字は文番号と呼ばれ，ここをクリックすると１文単位で翻訳がおこなわれます。



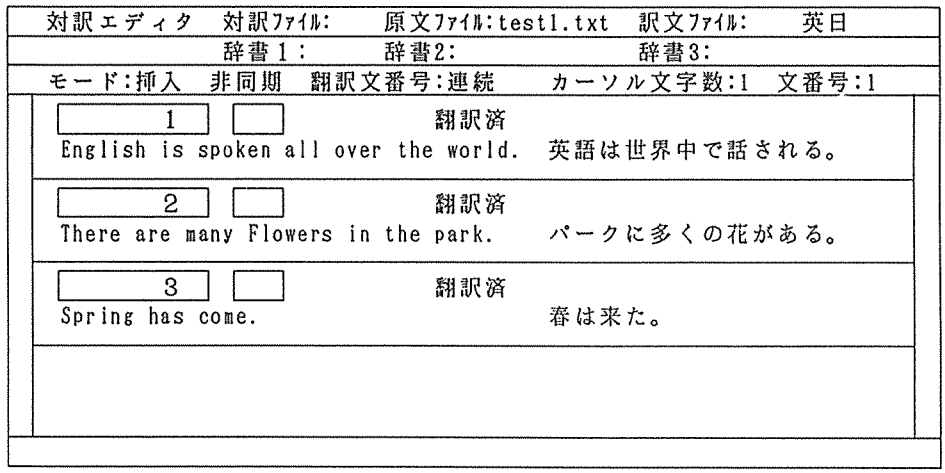
2．連続翻訳

1.操作パネルの＜連続翻訳＞をクリックすると次画面となります。



2.ここで翻訳範囲を指定するのですが全てを翻訳する場合，何も指定せず＜実行＞をクリックします。

3.順番に翻訳がおこなわれます。



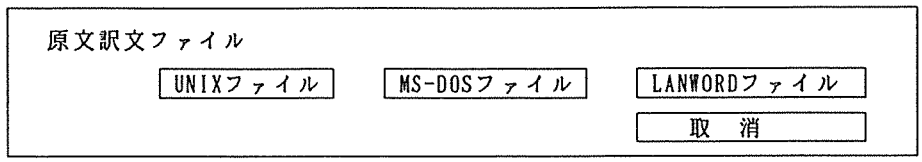
4.翻訳が終了すれば，"連続翻訳が終了しました"の表示があります。

Ⅸ．翻訳結果出力

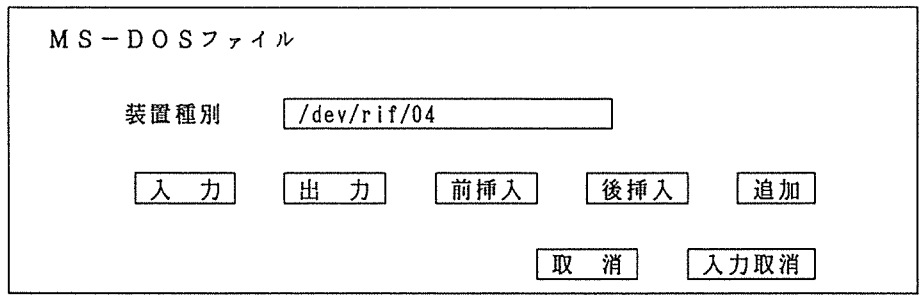
翻訳された結果をファイルに出力したり，プリンタに出力する方法について述べます。

1．翻訳結果をＭＳ－ＤＯＳまたは，ＵＮＩＸファイルに出力

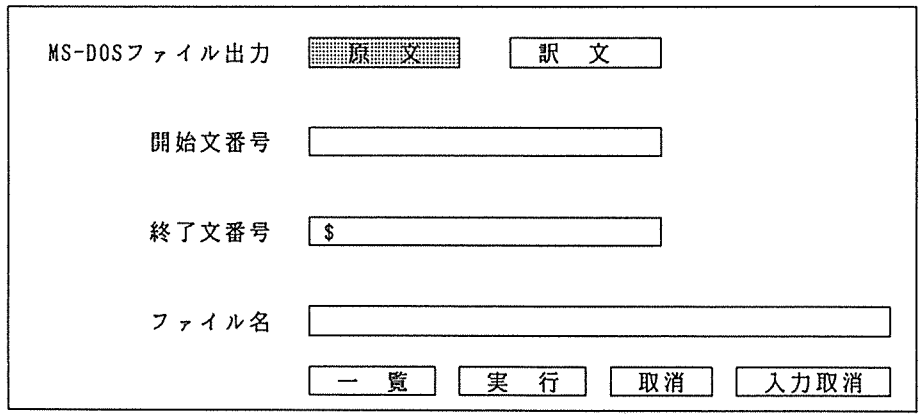
1.操作パネルの＜原文訳文ファイル＞をクリックすると次画面となります。



2.ＭＳ－ＤＯＳに出力する場合は，＜ＭＳ－ＤＯＳファイル＞をクリックすると次画面となります。ＵＮＩＸファイルに出力する場合は，＜ＵＮＩＸファイル＞をクリックします。その場合，ＭＳ－ＤＯＳファイルのような装置種別の問い合わせはありませんが操作は同じです。



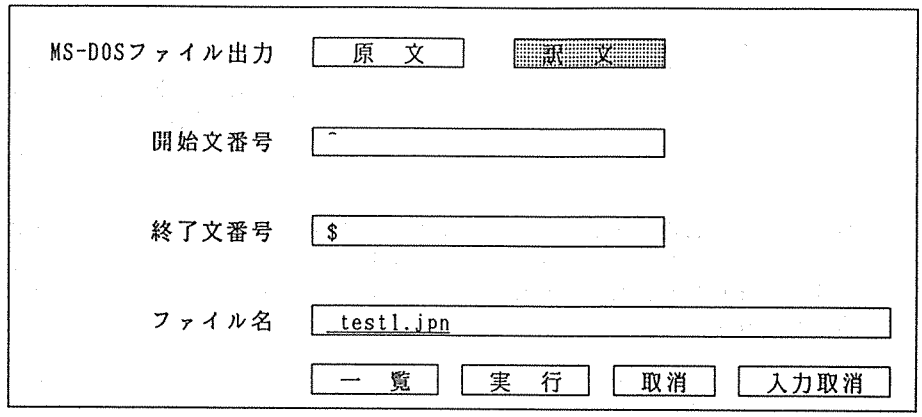
3.ここで，＜出　力＞をクリックすると次画面となります。



4.＜訳文＞をクリックすると＜訳文＞が反転します。

5.全てを出力する場合は，開始文番号および終了文番号には何も入力せず，↓キーを押してファイル名入力までカーソルを位置付けます。

6.ＭＳ－ＤＯＳに出力するファイル名を入力します。

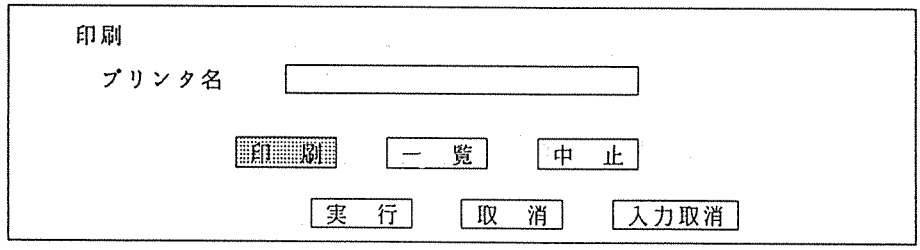


7.＜実行＞をクリックします。
これにより，訳文(日本語)がＭＳ－ＤＯＳに書き込まれます。＜ｕｎｉｘファイル＞に出力した場合は，かな漢字コードはＥＵＣコードでファイルに書き込まれます。
ＥＵＣコードについては最終ページの【参考３】を参照してください。

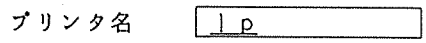
２．翻訳結果の印刷

センター第３ＴＳＳ室に設置されているプリンタ（豊中Ｄ・Ｓにもプリンタが設置されています）に出力する方法について説明します。出力する前にこのプリンターのモードがＥモード(Emulate Mode)になっているのを確認してください。

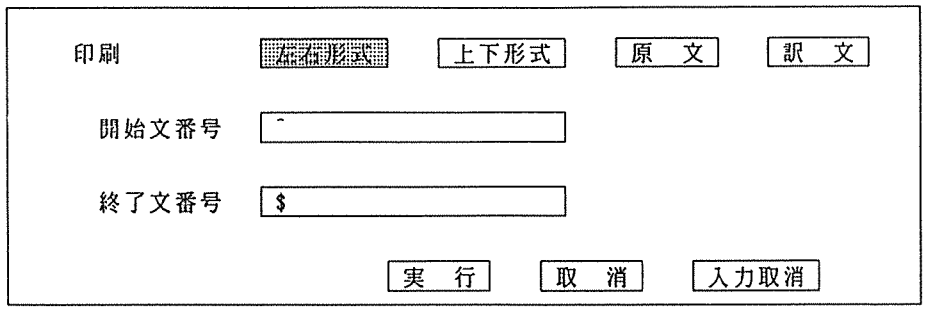
1.操作パネルの＜印刷＞をクリックすると次画面となります。



2.プリンタ名には，ｌｐと入力します。



3.＜印刷＞が反転表示されているのを確認し，＜実行＞をクリックします。



4.原文と訳文をどのように配置して印刷するかを指定します。

左右形式　：　原文が左，訳文が右
上下形式　：　原文が上，訳文が下
原文　：　原文のみ
訳文　：　訳文のみ

ここの例では，＜左右形式＞をクリックします。

5.全てを印刷する場合は，開始文番号と終了文番号は指定せず，＜実行＞をクリックします。これにより印刷が開始されます。

【印刷結果例】

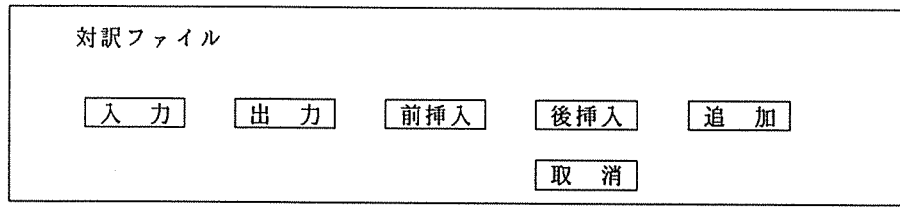
```
英日対訳リスト                          Wed Jul 8 10:10    page 1
対訳ファイル

  1 English is spoken all over the      英語は世界中で話される。
    world.

  2 There are many Flowers in the       パークに多くの花がある。
    park.

  3 Spring has come.                    春は来た。
```

X．対訳ファイル出力

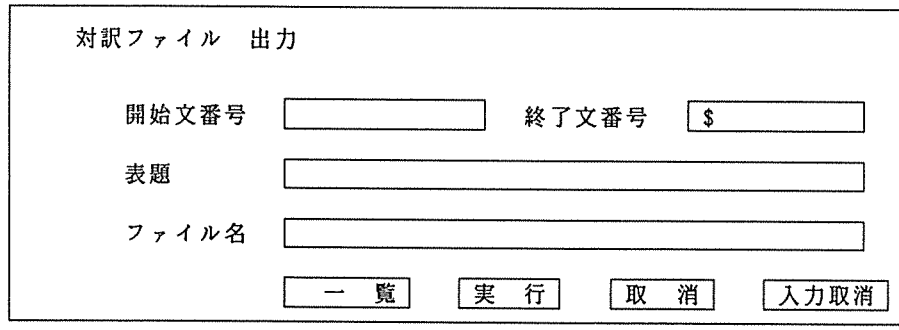
対訳ファイルとは，原文，訳文，解析結果，解析補助情報などを格納したＰＩＶＯＴ専用の特殊ファイルです。このファイルを作成することにより次回のＰＩＶＯＴを起動する際，対訳ファイル入力がおこなえます。以前の翻訳に手直しをし，再変換等をおこなうということを考慮した場合，この対訳ファイル出力をやっておくことをお奨めします。

しかし必ず作成しなくてはならないファイルではありませんので訳文を出力すれば，
ＰＩＶＯＴを終了させてもけっこうです。

1.操作パネルの＜対訳ファイル＞をクリックすると次画面となります。



2.＜出力＞をクリックすると次画面となります。



3.文番号は指定せず（全てを対象），↓キーで"表題"へカーソルを位置付けます。
ここでは，かな漢字で表題を入力することができます。何も入力しない場合は続いて
↓キーを押し，ファイル名に位置付けます。

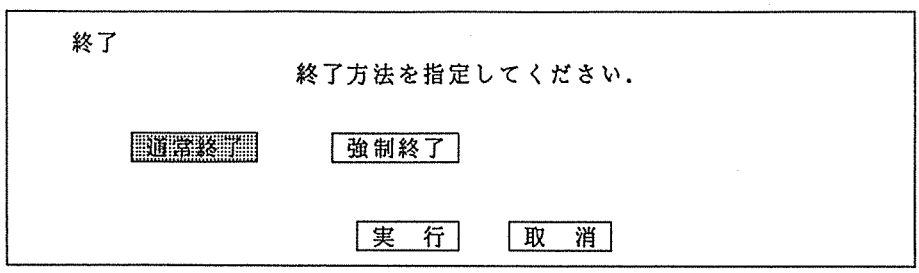
4.ファイル名の後の拡張子は，英日翻訳の場合にはｅｊが。日英翻訳の場合にはｊｅが
付けられています。

【例】　ファイル名　testl.ej

5.＜実行＞をクリックします。

ＸＩ．ＰＩＶＯＴの終了

1.操作パネルの＜終了＞をクリックすると次画面となります。



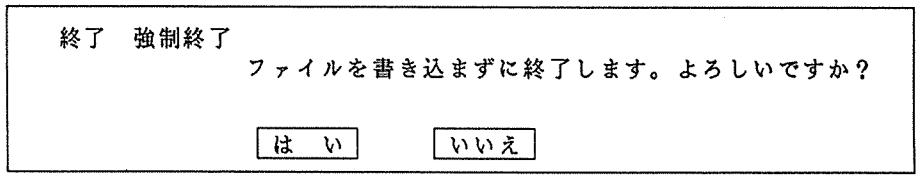
2.対訳ファイルに保存して終了する場合は，＜通常終了＞をクリックします。
対訳ファイルに保存しない場合は，＜強制終了＞をクリックします。既に対訳ファイルに出力をしたのであれば，強制終了をおこなってもかまいません。

3.指定した終了方法により表示されるパネルが違います。

＜通常終了＞をクリックした場合
表題，対訳ファイル名を入力し，＜実行＞をクリックします。

表題は省略が可能です。また，拡張子には英日翻訳の場合はｅｊが。日英翻訳の場合はｊｅが付けられています。

＜強制終了＞をクリックした場合
ファイル出力せずに終了することへの確認に対して＜はい＞をクリックします。



4.ＰＩＶＯＴのメインメニューが表示されますので＜終了＞をクリックします。

ＸⅡ．ログアウト

ｘｔｅｒｍの画面内にカーソルを入れ，ｅｘｉｔまたはｌｏｇｏｕｔとします。
【例】
ccews03 % exit

以上，最も基本的な操作について説明しましたが，つぎに効率よく翻訳する条件を示します。

英日翻訳
- 品詞や，語の意味などに曖昧性がない文章

・不必要に長い文を避ける
・専門的な用語はあらかじめユーザ辞書に登録しておく

日英翻訳
・修飾関係が明確な文章
・省略の多い表現や不必要に長い表現を避ける
・専門的な用語はあらかじめユーザ辞書に登録しておく

ＰＩＶＯＴには豊富な機能があります。これにより効率の良い翻訳ができるものと思われます。辞書登録等についてはここでは説明をしませんでしたが詳しくはマニュアルをご覧ください。

【参考１】
・ワークステーションの利用申請

センターのワークステーションを利用するには，汎用機の申請とは別に申請をおこなわなくてはなりません。ＡＣＯＳのＴＳＳコマンド"$ＷＳＴＲ"でおこなってください。

【例】
1.ＡＣＯＳのＴＳＳに接続し，SYSTEM?またはビルドモードで$WSTRを入力します。
SYSTEM ? $WSTR
下線は入力を示します
１：新規申請
２：停止申請
３：終了

番号を入力してください

ここで新規申請"1"を入力します。

2.つぎに，支払いコードの問い合わせがあります。ここでリターンキーのみの場合は接続時の支払いコードで申請されたものとします。通常はリターンキーのみ入力。

3.つぎに，氏名の問い合わせがありますからご自分の氏名を１６文字以内の英文字で入力します。 例： Shigeo Nakajima

4.入力した支払いコードと氏名の確認メッセージが表示されますので，正しければリターンキーを押してください。

5.続いて終了しますか？の問い合わせにリターンキーのみを入力すれば終了です。

【参考２】

・５インチフロッピィディスクからの入力

５インチフロッピィディスク装置が設置されているのはccews01とccews09です。ＭＳ－ＤＯＳ形式のファイルを次のコマンドにより読み込みます。そして読み込んだファイルを原文入力では，＜ＵＮＩＸファイル＞からの入力とします。

ccews01または，ccews09にログインしmsreadコマンドにより入力します。

【例】

```
ccews01 % msread /dev/rif/24 MS-file > unix-file
```

```
/dev/rif/24 ..... フロッピィディスクドライブ１
/dev/rif/34 .....        〃              ２
MS-file     ..... ＭＳ－ＤＯＳファイル名
unix-file   ..... ｕｎｉｘファイル名
```

・５インチフロッピィディスクへの出力

ＰＩＶＯＴの翻訳結果を直接５インチフロッピィに書き込むことはできません。そこで訳文を一旦＜ｕｎｉｘファイル＞に出力し，ccews01またはccews09に設置された５インチフロッピィ装置に書き込むようにします。

ccews01または，ccews09にログインしmswriteコマンドにより出力します。

【例】

```
ccews01 % mswrite /dev/rif/24 MS-file < unix-file
```

【参考３】

・かな漢字コードについて

pivotje（日英翻訳）において原文入力の際，ｕｎｉｘファイルから，かな漢字ファイルを入力する場合，ＥＵＣコードとしなくてはなりません。例えば電子メールでの，かな漢字コードは一般的にＪＩＳコードが使われています。そこでこれらのファイルは，つぎのｎｋｆコマンドでＥＵＣコードに変換をおこない，変換したファイルをＰＩＶＯＴの原文入力としなくてはなりません。

【例】ＥＵＣコードへの変換

```
ccews03 % nkf -e file1 > file1.euc  ...  file1.eucがコード変換したファイル
```

【例】ＪＩＳコードへの変換

```
ccews03 % nkf file2 > file2.jis     ...  file2.jisはＪＩＳコードファイル
```

オプションを付けない場合はＪＩＳコード出力が標準となります。